

報 告

イベリア半島における大規模停電 —判明していること・解明が期待されること—

電力中央研究所
グリッドイノベーション研究本部

国内外の大規模停電の例

発生年	停電	停電規模	停電の起点となった事象（注）
1965	御母衣事故	300万kW(エリア需要の7割)	地滑りによる送電鉄塔傾斜
1987	首都圏大規模停電	817万kW(エリア需要の1/5)	急激な需要増（による電圧崩壊）
2005	新潟雪害	新潟下越地域 65万戸	塩雪害による絶縁低下、ギャロッピング
2011	東日本大震災	2 エリアにおいて891万戸	地震による設備損傷
2018	北海道ブラックアウト	300万kW(エリア全域停電)	地震による設備損傷
2019	台風19号	千葉県などで93万戸	台風による設備損傷
1965	アメリカ北東部大停電	3000万人（2373万kW以上）	230kV送電線トリップ
1977	ニューヨーク大停電	800万人	雷撃での送電線トリップ、発電機トリップ
2003	北アメリカ大停電	5000万人（6180万kW）	樹木接触による送電線トリップ
2003	イタリア大停電	5600万人（2740万kW）	樹木接近による国際連系送電線トリップ
2006	ヨーロッパ広域停電	1000万人（1700万kW）	大型客船通過のため、河川上部を通る送電線を停止
2019	ロンドン大停電	110万人以上	落雷による基幹送電線の地絡

2025	イベリア半島大規模停電	約3100万kW（推定）	検証中
------	-------------	--------------	-----